

森美術館

「レアンドロ・エルリッヒ展：見ることのリアル」同時開催プログラムのご案内

会期：2017年11月18日(土)～2018年4月1日(日) 会場：森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)



MAMコレクションは、森美術館の収蔵品を、
多様なテーマに沿って順次紹介する展覧会シリーズです。

MAMコレクション006:

物質と境界—ハンディウィルマン・サブトラ+千葉正也

企画：熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

ハンディウィルマン・サブトラ(1975年生まれ)と千葉正也(1980年生まれ)の作品を紹介します。ハンディウィルマンは「物質」に関心を抱き、彫刻を中心に様々な手法、素材を用いた作品を発表しています。千葉は自作の人形などを含めた不可思議な環境を実際に構築し、絵画のモチーフとする手法で知られています。それぞれの持つ物質、素材、環境、境界に対する視線や態度の違いと共通点に着目します。



千葉正也
《2013年のパワフルヤングボーイ》
2013年 油彩、キャンバス
274×225 cm (2点組)
画像提供：シュウゴアーツ、東京



MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから
選りすぐりのシングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

MAMスクリーン007:山本 篤

企画：徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)

山本篤(1980年生まれ)は、ドキュメンタリー作品からフィクションや実験的なコトのような作品まで、これまで174本にのぼる映像作品を制作してきました。本展では、初期の短編作品と近年の長編作品を合わせた上映プログラムを組みました。山本は作品制作を通じて目の前の現実に向き合おうとしているといえ、その実直な姿は多くの共感を促すでしょう。



山本 篤
《THE PAST AND THE FUTURE IN THE PRESENT》
2016年 HDビデオ、46分



MAMプロジェクトは森美術館が世界各地のアーティストと
実験的なプロジェクトを行うシリーズです。

MAMプロジェクト024:デイン・ミッチェル

企画：片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)、

ザラ・スタンホープ(元オークランド・アート・ギャラリー主任キュレーター)

共同コミッション：森美術館、オークランド・アート・ギャラリー(ニュージーランド)

助成：クリエイティブ・ニュージーランド

デイン・ミッチェル(1976年生まれ)は、不可視の世界のエネルギーや力学について、芸術的、科学的、歴史的な観点からリサーチをするアーティストです。本展では、日本の伝統的な香の世界から香料の最新技術まで多角的なリサーチを経て、視覚的経験につながる目と不可視の領域へ導く鼻との関係を詩的に探ります。眼球の虹彩、アヤメ属の植物、ギリシャ神話では虹などを意味する「アイリス」という言葉がキーワードとなっています。



デイン・ミッチェル
《アイリス、アイリス、アイリス(習作)》
2017年 インクジェット・プリント
50×50 cm
Courtesy: Hopkinson Mossman, Auckland & Christopher Grimes, Los Angeles

主催：森美術館 開館時間：10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 *いずれも入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休

入館料：「レアンドロ・エルリッヒ展」チケットで入館可 一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、

子供(4歳—中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 *表示料金に消費税込

*本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) *スカイデッキへは別途料金がかかります

一般のお問い合わせ：Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

プレスリリース お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum
〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

*プレス画像は、<https://press.mori.art.museum/jp/press-img/>より申請、ダウンロードいただけます。